

# KISSEI

証券コード：4547

## 決算補足資料

2025年3月期 第1四半期

2024年7月30日

 **キッセイ薬品工業株式会社**

# 目次

【四半期決算短信「当四半期連結累計期間の経営成績の概況」より抜粋】	……………	P 1
I. 連結損益計算書の推移	……………	P 2
II. 主な医薬品の売上推移	……………	P 3
III. 新薬開発状況（自社）	……………	P 4
IV. 新薬開発状況（導出）	……………	P 4

## 注記

・本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2024年7月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

## 【四半期決算短信「当四半期連結累計期間の経営成績の概況」より抜粋】

### ・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、18,494百万円（前年同期比15.1%増）となりました。過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」に加え、中期経営計画「PEGASUS」期間中に新発売した4製品（潰瘍性大腸炎治療薬「カログラ錠」、顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬「タブネオスカプセル」、慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬「タバリス錠」、透析患者におけるそう痒症治療薬「コルスバ静注透析用シリンジ」）の売上の伸長、さらには技術料売上なども増加し、増収となりました。

情報サービス事業の売上高は1,952百万円（前年同期比14.6%減）、建設請負事業の売上高は485百万円（前年同期比36.4%減）、物品販売事業の売上高は231百万円（前年同期比16.4%増）となりました。

### ・利益の状況

利益面では、研究開発費を主とした販売費及び一般管理費の増加の一方、増収及び売上原価率の改善などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。なお、特別利益として投資有価証券売却益を計上しています。

### ・研究開発の状況

当社が創製した子宮筋腫・子宮内膜症治療薬リンザゴリクス（一般名、開発番号：KLH-2109）は、子宮筋腫を適応症とした2つの国内第Ⅲ相臨床試験において、それぞれ対照群に対する非劣性及び優越性が示され、主要評価項目を達成しました。

リンザゴリクスの海外展開においては、技術導出先であるセラメックス社（英国）にて、子宮筋腫を適応症とする2024年度上半期中の欧州での本剤（製品名：Yselty）の発売に向け、市場導入準備が最終段階にあります。また、2024年6月、JWファーマシューティカル社（韓国）に韓国における独占的な開発権及び販売権を許諾しました。

なお、アフアメドセラピューティクス社（中国）との間で締結した、当社創製のパーキンソン病治療薬KDT-3594（開発番号）の中国他における開発権及び販売権を許諾するライセンス契約は、2024年5月に終了しました。

# I. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	2024年3月期		2025年3月期			
	第1四半期実績	通期実績	第1四半期実績	前同比	通期予想	うち上期
売上高	19,313	75,579	21,164	9.6%	83,000	41,000
医薬品事業	16,065	63,348	18,494	15.1%	70,500	35,000
医薬品	13,748	54,237	15,892	15.6%	60,000	29,000
ヘルスケア食品	890	3,545	898	0.9%	3,600	1,800
技術料*1	99	714	588	493.6%	2,100	2,000
その他*2	1,327	4,850	1,114	△16.0%	4,800	2,200
情報サービス事業	2,285	8,399	1,952	△14.6%	8,500	4,200
建設請負事業	763	3,022	485	△36.4%	3,150	1,300
物品販売事業	199	809	231	16.4%	850	500
(売上高のうち輸出)	(1,419)	(4,510)	(1,631)	(14.9%)	(6,100)	(3,800)
売上原価	9,730	38,238	10,283	5.7%	42,000	20,500
(原価率%)	(50.4)	(50.6)	(48.6)		(50.6)	(50.0)
売上総利益	9,583	37,341	10,881	13.5%	41,000	20,500
販売費及び一般管理費	7,949	33,324	8,723	9.7%	36,800	19,000
研究開発費	2,201	9,474	2,586	17.5%	12,000	6,600
(売上高比%)	(11.4)	(12.5)	(12.2)		(14.5)	(16.1)
営業利益	1,633	4,017	2,158	32.2%	4,200	1,500
営業外収益	1,141	2,329	732	△35.8%	1,300	750
受取利息及び配当金	661	1,319	651	△1.6%		
その他の収益	479	1,009	81	△83.1%		
営業外費用	62	203	14	△76.2%	100	50
支払利息	4	18	4	2.9%		
その他の費用	57	185	9	△82.8%		
経常利益	2,712	6,142	2,876	6.0%	5,400	2,200
特別利益	1,638	8,349	2,812	71.7%	10,000	5,000
特別損失	1	43	166	–	–	–
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,349	14,449	5,521	27.0%	15,400	7,200
法人税、住民税及び事業税	1,177	3,263	1,284	9.1%	3,850	1,900
法人税等調整額	△151	△104	131	–	150	50
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	57	128	△1	–	100	50
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	3,265	11,160	4,106	25.8%	11,300	5,200

(包括利益) (4,653) (36,044) (1,594) (△65.7%)

\*1：ライセンスアウトに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤルティの合計額

\*2：国内販売提携先供給額、コ・プロモーションフィーの合計額

## Ⅱ. 主な医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	2024年3月期		2025年3月期			
	第1四半期実績	通期実績	第1四半期実績	前同比	通期予想	うち上期
過活動膀胱治療薬 ハオーバ	3,735	15,335	4,580	22.6%	17,500	8,400
デスモプレシン製剤 ミニリンメルト、他 <sup>*1</sup>	983	3,662	954	△2.9%	3,200	1,600
排尿障害改善薬 ユリーフ	537	2,076	336	△37.5%	1,400	700
高リン血症治療薬 ピートル	1,444	5,241	1,226	△15.1%	5,300	2,700
透析そら痒症治療薬 コルスバ	—	757	997	—	3,600	1,500
腎性貧血治療薬 ダルベポエチン アルファBS注JCR	1,057	4,077	951	△10.1%	3,600	1,800
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	654	2,336	504	△22.9%	1,800	900
糖尿病治療薬 グルベス、グルファスト	1,054	3,806	894	△15.1%	3,300	1,700
糖尿病治療薬 マリゼブ	293	1,073	277	△5.7%	1,100	600
MPA <sup>*2</sup> 、GPA <sup>*3</sup> 治療薬 タブネオス	948	5,161	2,168	128.6%	7,000	3,300
潰瘍性大腸炎治療薬 カログラ	275	1,091	310	12.6%	1,800	800
慢性ITP <sup>*4</sup> 治療薬 タバリス	117	818	491	317.7%	2,500	1,100

\*1：ミニリンメルト、デスモプレシン点鼻スプレー、デスモプレシン静注

\*2：顕微鏡的多発血管炎

\*3：多発血管炎性肉芽腫症

\*4：特発性血小板減少性紫斑病

### Ⅲ. 新薬開発状況（自社）

（2024年7月現在）

一般名／開発番号	予定適応症	主な作用等	開発段階	開発区分等
CG0070	筋層非浸潤性膀胱がん	腫瘍溶解性ウイルス療法	第Ⅲ相	導入品／CGオンコロジー(米国)
リンザゴリクス ／KLH-2109	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	第Ⅲ相	創製品
	子宮内膜症		第Ⅱ相	創製品
KDT-3594	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	第Ⅱ相	創製品
KSP-0243	潰瘍性大腸炎		第Ⅱ相	創製品

※ ロバチレリン（脊髄小脳変性症）：追加臨床試験の実施可能性を検討中

※ 前回公表時（2024年5月）からの変更点 なし

### Ⅳ. 新薬開発状況（導出）

（2024年7月現在）

一般名	予定適応症	主な作用等	実施国・地域	提携企業	開発段階
リンザゴリクス (linzagolix)	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	欧州	セラメックス(英国)	承認取得
			中国	バイオジェン(中国)	第Ⅲ相
			台湾	シンモサバイオファーマ(台湾)	承認申請中
	子宮内膜症		欧州	セラメックス(英国)	第Ⅲ相
	中国		バイオジェン(中国)	第Ⅲ相	
ホスタマチニブ (fostamatinib)	慢性特発性血小板減少性紫斑病	チロシキナーゼ阻害作用	韓国	JWファーマシューティカル(韓国)	承認申請中
シロドシン (silodosin)	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1Aアドレナリン受容体拮抗作用	ベトナム、他	エーザイ(日本)	承認申請中

※ 前回公表時（2024年5月）からの変更点 なし